

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立仁方小学校
(仁方中学校区)

全国平均値との差		
	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+1.3	+3.6
令和5年度	+3.8	+0.5
令和4年度	+13.4	+8.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 話すこと・聞くこと 我が国の言語文化 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 数と計算 図形 データの活用 変化と関係 全国平均 県平均 本校 本校 69% 全国 67.7% 県 69%	重点課題	◎目的や意図に応じて、情報を整理し、自分の考えが伝わるように、話したり書いたりすることに課題がある。(設問1三)【話すこと・聞くこと】(正答率60.5%)、(設問2一(1))【書くこと】(正答率74.4%) ◇伝えたい内容を捉え、説明したものを選択することに課題がある。【話すこと・聞くこと】
	改善の方策	◎国語科の学習のみならず、他教科や総合的な学習の時間において、情報を分類したり関係付けたりして整理し、伝えたいことを明確にして話したり書いたりする活動を設定する。 ◇自分の見方・考え方について話したい内容を整理し、相手や目的に応じて説明する活動を設定する。
	検証	◎◇全国学力(設問1三)(第5・6学年、2月)、目標68%→結果79.5% 標準学力調査(設問6)(全学年、12月)、目標50%→結果75.5%
算数 数と計算 図形 データの活用 変化と関係 全国平均 県平均 本校 本校 67% 全国 63.4% 県 64%	重点課題	◎示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断する力に課題がある。(設問5(4))【データの活用】(正答率39.5%) ◇日常生活の問題、文章や表から読み取る問題を正しく読み取り、その解法を記述したり、説明したりするなど、表現することに課題がある。
	改善の方策	◎問題文を最後まで読みきり、問題場面や題意を確実にとらえるために、問題の中で使われている数を丸で囲ませたり、問われていることに線を引いたりすることを学校全体で統一する。 ◇問われていることを明確にするために、問題文に線を引かせる。
	検証	◎標準学力調査の「データの活用」に関する問題(第5学年) 目標70%→結果73.4% ◇全国学力(設問5(4)問題(第5・6学年、2月) 目標50%→結果75%

【来年度に向けて】

◎問われていることについて線を引き、必要な情報を整理する活動や、自分の考えを相手や目的に応じて説明する活動を積み重ねていく。

◎基礎知識の習得を確実に定着させることと共に、言葉による表現の違いに敏感になり、理解を深める。

◎文章を読み取る問題を反復して練習するには、基礎的、基本的な知識・技能が必要である。この基本的、基本的な知識・技能を早く習得し、思考する問題に取り組めるようにする。